



フィリピンのママヌワ族の男性 (写真提供 L. Bauzon)



コンゴ共和国のピグミーの人びと (写真提供 西原智昭)

先住民族問題研究会 座談会

「世界の狩猟採集民の現状」

(Round Table Talks: Hunter-Gatherers of the World Now)

2019年2月21日(木) 14:00~17:00 聖心グローバルプラザ

人口学者の推定によれば、1万年前の世界人口はおよそ800万人で、ほぼ全員が狩猟採集民だった。その後、農耕・牧畜民が人口増大し世界中に広がったが、狩猟採集民はそうではなく、約40民族が世界に点々と残存しているにすぎない。

この座談会では、狩猟採集民に詳しい日本人研究者に加え、フィリピン最古の先住民族といわれるママヌワの部族長であるカイン・フクマン氏および大学教授のラリー・ディオ氏を招き、世界の狩猟採集民が現在おかれた状況について話しあう。

司会：尾本 恵市 (東京大名誉教授 先住民族問題研究会代表)

出席：友永 雄吾 (龍谷大准教授) 「オーストラリアのアボリジニの現状」

西原 智昭 (アフリカ日本協議会・理事) 「コンゴ共和国のピグミーは今」

特別参加：ラリー・ディオ (スリガオ市・セントポール大教授)、カイン・フクマン (ママヌワ部族長) 「フィリピンのママヌワ族の苦悩」

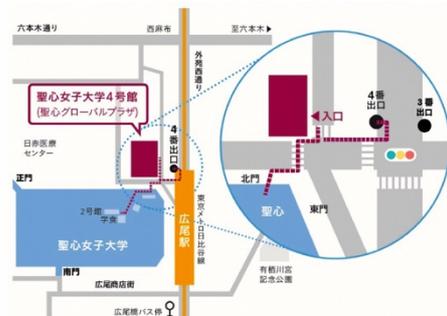
日時：2019年2月21日(木) 14:00~17:00

会場：聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ (右

図) BE*hive (日比谷線 広尾駅4番出口から徒歩2分)

参加費：無料です

お申し込み：こちらのGoogleフォーム
(右のQRコード/下記リンク)



<https://goo.gl/forms/UvpAaOa72IKtYoW32> または、Eメール (先住民族問題研究会事務局 indigenous.peoples.and.us@gmail.com 宛) で参加をお申し込みください

お問い合わせ：先住民族問題研究会 代表 尾本 恵市 (Eメール keiichi0637@gmail.com)